

キスジセアカカギバラバチ——やわらかな若葉なら植物を選ばず産卵 64

アカホシtentウ——卵から成虫へ、大変身の記録 65

ブドウハマキチョッキリ——卵を産んだらくるくる葉を巻く 70

ナナフシモドキ(ナナフシ)——敵に会ったら脚<sup>あし</sup>を切<sup>き</sup>って逃げる 73

スケバハゴロモ——幼虫は虫の花火に見える 76

エサキモンキツノカメムシ——卵から2<sup>れい</sup>齢幼虫まで親虫が抱<sup>だ</sup>いて育てる 78

アオマツムシ——街路樹でもよく鳴いている 82

コニワハンミョウ——大あごでミミズなどを咀嚼<sup>そしやく</sup>する 84

トビナナフシ——本州では単<sup>たん</sup>為<sup>い</sup>生殖<sup>せいしよく</sup> 86

ムネアカアワフキ——サクラが食樹 88

エンマコオロギ——顔<sup>えんま</sup>が閻魔様 90

サトクダマキモドキ——<sup>かんぼく</sup>灌木の高い位置に生息 92

シロオビアワフキ——<sup>あわ</sup>泡の中に幼虫がいる 93

トノサマバッタ——生息地の広い草っ原が失われつつある 96

ピロードハマキ——外敵から身を守る?毒々<sup>しきさい</sup>しい色彩 99

カメノコtentウ——オニグルミで展開されるクルミハムシとのドラマ 100

ヨツモンカメノコハムシ——幼虫は身を守るために糞<sup>ふん</sup>や脱皮殻<sup>だつひから</sup>をのせ外敵よけにする 104

スズバチ——ドロと唾液<sup>だえき</sup>で壺<sup>つぼ</sup>型の巣をつくる 106

コラム 人も虫も植物も。命のにぎわいのある公園づくり 18

自然からの美麗<sup>びれい</sup>な贈り物「クモ花火」 36

私の昆虫歴 110

昆虫名索引 112

観察できる植物と場所 113

\*本文中の「公園」は、著者がおもなフィールドとしている神奈川県横浜市旭区にあるこども自然公園(大池公園)を指します。

\*体長は頭の先から腹部の先までの長さ、開長は翅を広げた時の左右の長さを指します。

